

イーストスプリング
 US投資適格債ファンド・
 為替ヘッジ付
 (毎月決算型) / (年2回決算型)
 【愛称：USAボンド毎月 / USAボンド】

追加型投信 / 海外 / 債券

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として米ドル建ての債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
 〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング
<http://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法＞

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

作成対象期間 2018年10月23日～2019年4月22日

(毎月決算型)

第30期 2018年11月21日決算 第33期 2019年2月21日決算

第31期 2018年12月21日決算 第34期 2019年3月22日決算

第32期 2019年1月21日決算 第35期 2019年4月22日決算

(年2回決算型)

第6期 2019年4月22日決算

(毎月決算型)

日経新聞掲載名：USAボンド

第35期末	基準価額	9,831円
	純資産総額	8百万円
第30期～ 第35期	騰落率	3.7%
	分配金合計	60円

(年2回決算型)

日経新聞掲載名：USAボンド

第6期末	基準価額	10,176円
	純資産総額	91百万円
第6期	騰落率	4.2%
	分配金合計	0円

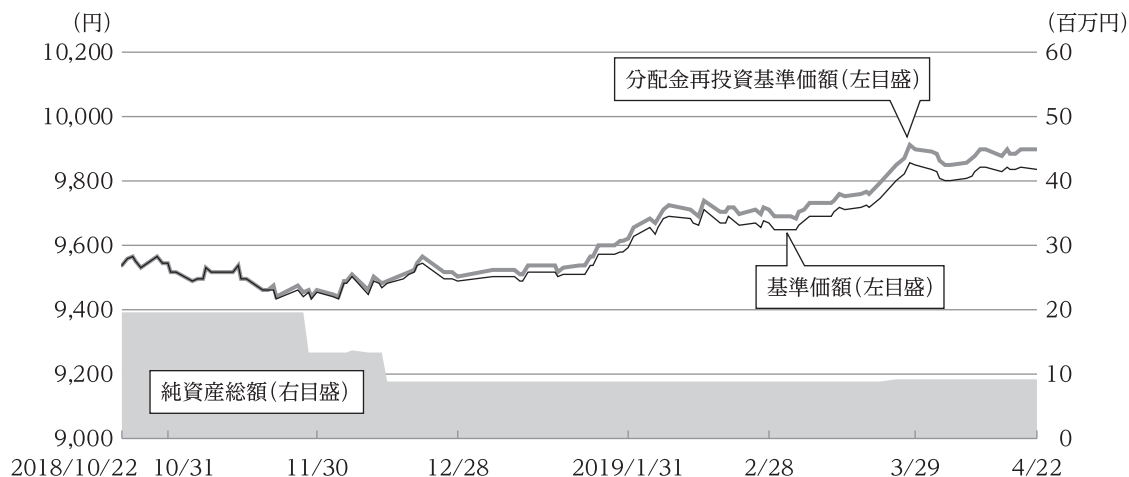
(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

(毎月決算型)

基準価額等の推移について

(2018年10月23日～2019年4月22日)



第30期首	9,536円
第35期末	9,831円 (既払分配金60円)
騰落率	3.7% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

上昇要因



米国投資適格社債が上昇（利回りは低下）したこと

1 万口当たりの費用明細

(2018年10月23日～2019年4月22日)

項目	第30期～第35期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	33円	0.339%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、9,595円です。
(投信会社)	(10)	(0.108)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(21)	(0.215)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	8	0.086	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(8)	(0.086)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	41	0.425	

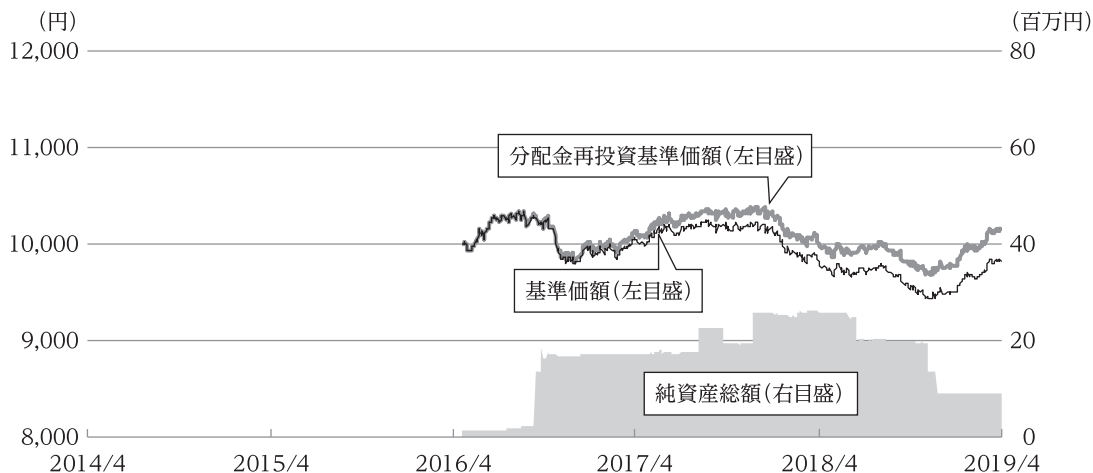
(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について (2014年4月21日～2019年4月22日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2016/5/10 設定日	2017/4/21	2018/4/23	2019/4/22	—	—
基準価額	(円)	10,000	10,050	9,818	9,831	—	—
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	80	120	120	—	—
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	1.3	-1.1	1.4	—	—
純資産総額	(百万円)	1	17	25	8	—	—

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を記載しております。

*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

運用経過

(年2回決算型)

基準価額等の推移について

(2018年10月23日～2019年4月22日)



第6期首	9,767円
第6期末	10,176円 (既払分配金0円)
騰落率	4.2% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因



米国投資適格社債が上昇（利回りは低下）したこと

1万口当たりの費用明細

(2018年10月23日～2019年4月22日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	33円	0.339%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は、9,868円です。
(投信会社)	(11)	(0.108)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(21)	(0.215)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	5	0.054	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監査費用)	(5)	(0.054)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用 (マイナス金利相当額)
合計	38	0.393	

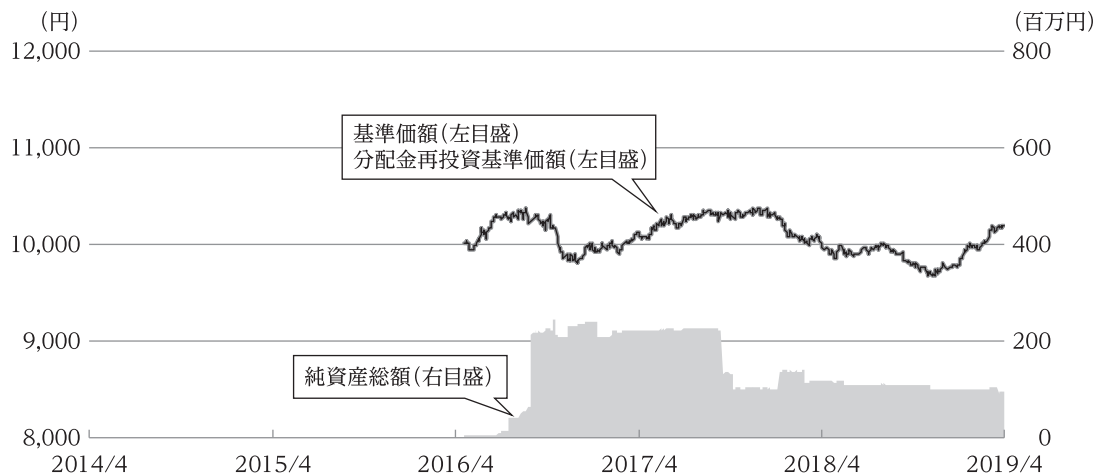
(注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について (2014年4月21日～2019年4月22日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日	2016/5/10 設定日	2017/4/21	2018/4/23	2019/4/22	—	—
基準価額 (円)	10,000	10,109	9,994	10,176	—	—
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	—	—
分配金再投資基準価額の騰落率(%)	—	1.1	-1.1	1.8	—	—
純資産総額 (百万円)	1	219	116	91	—	—

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を記載しております。

*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

米国債券市場

当（作成）期初から2019年1月初旬にかけて、米中通商交渉に対する懐疑的な見方が広がり、米国の主要株価指数が大幅下落したことや経済指標が悪化したことなどから、景気減速への懸念などを背景としたリスク回避姿勢が高まりました。米国債利回りは低下傾向となりましたが、投資適格社債の対国債スプレッドは拡大しました。2018年12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）では市場の予想通り0.25%の利上げが決定されましたが、2019年の利上げ見通しは3回から2回に下方修正されました。1月に発表された雇用統計が良好な内容であったことから景気後退懸念は和らぎ、社債スプレッドは大幅に縮小しました。その後も、米中通商交渉進展の期待や、米連邦準備制度理事会（FRB）のハト派転換などを好感し、当（作成）期末にかけて、社債スプレッドは引き続き縮小しました。米国債利回りも低下基調であったことから、投資適格社債は堅調（利回りは低下）に推移しました。

国内債券市場

当（作成）期初から2019年1月初旬にかけて、世界的にリスク回避的な動きが高まったことから、日本国債は堅調（利回りは低下）となりました。その後もFRBのハト派転換などを背景に世界の主要国の債券利回りが低下したことを受けて、日本国債の利回りも3月末にかけて低下基調となりました。当（作成）期末にかけて、米国の良好な景気指標や米中通商協議進展の期待からリスク回避姿勢は後退し、日本国債の利回りは緩やかに上昇しました。

ポートフォリオについて

イーストスプリングUS投資適格債ファンド・為替ヘッジ付 (毎月決算型) / (年2回決算型)

主要な投資対象の一つである「イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンドクラス」_{JDM} (hedged)」(以下「USIGボンド・ファンド」ということがあります。)の組入比率を高位に保つよう運用しました。

USIGボンド・ファンド

主として、米国の債券市場において発行されたBBB-相当以上の米ドル建ての投資適格債券に投資を行いました。原則として米ドル建ての資産について対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当(作成)期は大手銀行、通信会社、飲料会社などの保有がプラスとなった一方で、大手電気機器メーカー、電力会社、石油元売会社などの保有はマイナスに影響しました。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス (1-10年債) を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

(毎月決算型)

項目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
	2018年10月23日 ~2018年11月21日	2018年11月22日 ~2018年12月21日	2018年12月22日 ~2019年1月21日	2019年1月22日 ~2019年2月21日	2019年2月22日 ~2019年3月22日	2019年3月23日 ~2019年4月22日
当期分配金 (円)	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率) (%)	0.106	0.105	0.105	0.103	0.103	0.102
当期の収益 (円)	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外 (円)	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額 (円)	652	673	684	701	715	732

(年2回決算型)

項目	第6期
	2018年10月23日 ~2019年4月22日
当期分配金 (円)	-
(対基準価額比率) (%)	-
当期の収益 (円)	-
当期の収益以外 (円)	-
翌期繰越分配対象額 (円)	824

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)-印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

イーストスプリングUS投資適格債ファンド・為替ヘッジ付(毎月決算型)／(年2回決算型)

主要な投資対象の一つであるUSIGボンド・ファンドの組入比率を高位に保つことを基本とします。

USIGボンド・ファンド

市場を取り巻くマクロ環境と投資適格社債の見通しについては良好と考えていますが、年初来、投資適格社債のспレッドは大幅に縮小し、再び割高な水準となっています。市場では米国の2019年の実質国内総生産(GDP)成長率と企業業績の伸びが減速すると予想されています。負債比率が高い一部の企業で負債削減の取り組みなどが見られるものの、そのペースは緩やかであることから、今後の格下げなどの動きに注目しています。

金融政策と米中間の通商問題はリスク要因と考えられますが、FRBはバランスシートの縮小を2018年9月に終了し、利上げの休止を示し、欧州中央銀行(ECB)もハト派に転換するなど、今後の金融政策には注意が必要です。また、通商問題が景気に与える影響が懸念される中で、政権からのメッセージの一貫性の欠如などにより、市場が大きく動くリスクも考えられます。今後も長期的な見通しに立って慎重にセクターおよび銘柄を選択し、ポートフォリオを構築してまいります。

イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

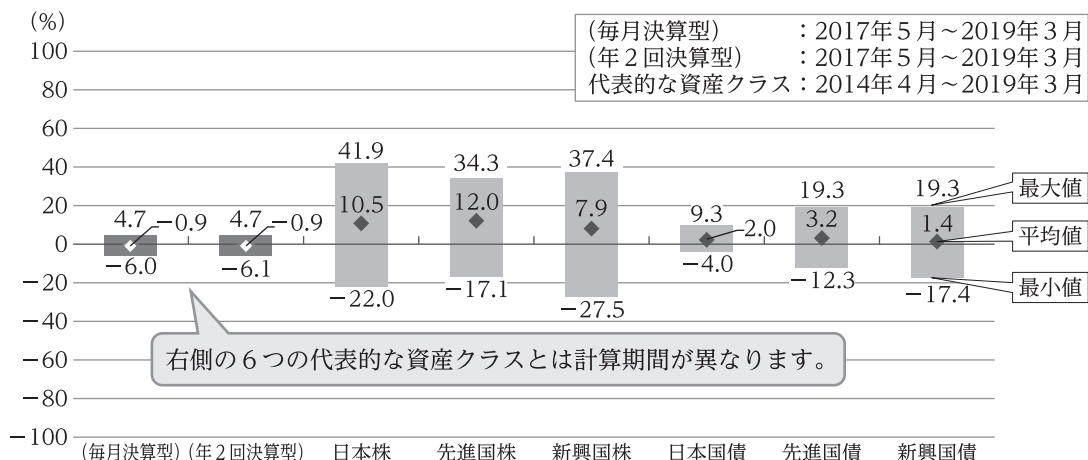
商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2016年5月10日から2026年4月21日まで
運用方針	主として、米ドル建ての債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンド クラス」 _{JDM} (hedged) の投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・外貨建資産への直接投資は行いません。・株式への直接投資は行いません。
分配方針	(毎月決算型) 原則として毎月21日（休業日の場合は翌営業日） (年2回決算型) 原則として毎年4月21日および10月21日（休業日の場合は翌営業日） 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

指数に関して

当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」のベンチマークについて

ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

(参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J.P. モルガン GBI-E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

(毎月決算型)

当ファンドの組入資産の内容

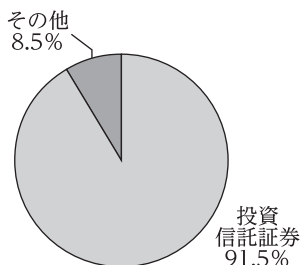
組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

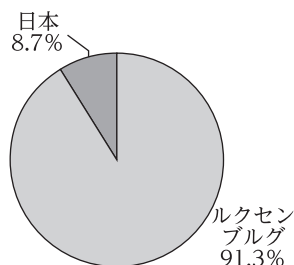
ファンド名	第35期末 2019年4月22日
イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンド クラスJ _{JDM} (hedged)	91.3%
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	0.2%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

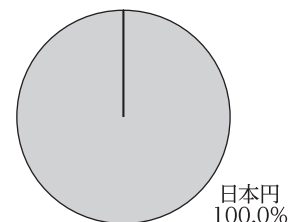
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第30期末 2018年11月21日	第31期末 2018年12月21日	第32期末 2019年1月21日	第33期末 2019年2月21日	第34期末 2019年3月22日	第35期末 2019年4月22日
純資産総額 (円)	19,349,136	8,682,755	8,649,322	8,806,503	8,867,965	8,949,993
受益権総口数 (口)	20,451,013	9,100,103	9,099,841	9,101,234	9,101,893	9,104,158
1万口当たり基準価額 (円)	9,461	9,541	9,505	9,676	9,743	9,831

*当作成期中 (第30期～第35期) において追加設定元本額は8,732円、一部解約元本額は11,355,014円です。

ファンドデータ

(年2回決算型)

当ファンドの組入資産の内容

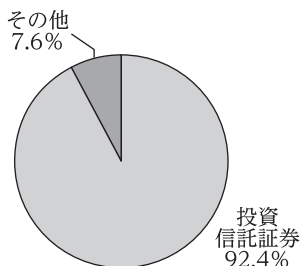
組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

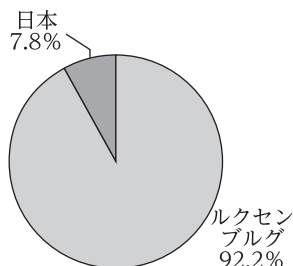
ファンド名	第6期末 2019年4月22日
イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンド クラスJ JDM (hedged)	92.2%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)	0.1%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

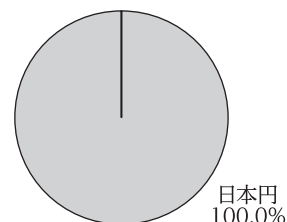
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

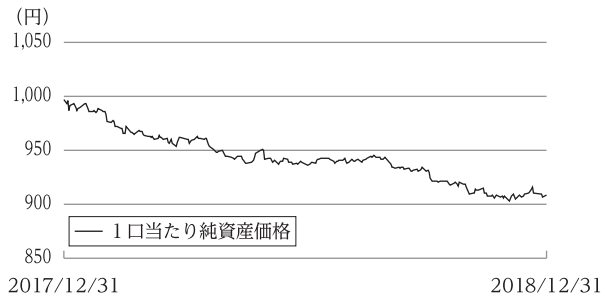
純資産等

項目	第6期末 2019年4月22日
純資産総額 (円)	91,307,680
受益権総口数 (口)	89,727,367
1万口当たり基準価額 (円)	10,176

*当期中において追加設定元本額は4,070,830円、一部解約元本額は22,880,507円です。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンド クラスJ_{JDM} (hedged)>
 基準価額（1口当たり純資産価格）の推移



1万口当たりの費用明細

(2018年1月1日～2018年12月31日)

当該期間のAnnual Report（監査済み）には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

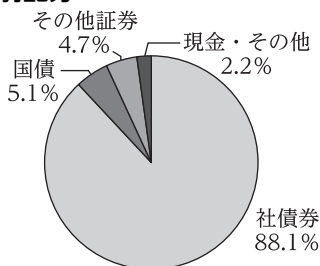
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンドの内容です。

組入上位10銘柄（組入銘柄数：368銘柄）

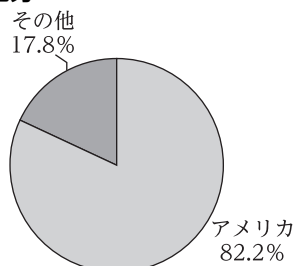
（2018年12月31日現在）

銘柄名	業種	利率	償還日	国・地域	比率
CITIGROUP INC	銀行	4.450%	2027/9/29	アメリカ	1.5%
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債	1.875%	2022/1/31	アメリカ	1.5%
SABINE PASS LIQUEFACTION LLC	エネルギー	5.750%	2024/5/15	アメリカ	1.3%
MORGAN STANLEY	銀行	3.625%	2027/1/20	アメリカ	1.3%
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債	2.250%	2020/3/31	アメリカ	1.3%
JPMORGAN CHASE & CO FRN	銀行	3.220%	2025/3/1	アメリカ	1.2%
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債	2.375%	2021/4/15	アメリカ	1.1%
VERIZON OWNER TRUST 2017-2	ABS	1.920%	2021/12/20	アメリカ	0.9%
BANK OF AMERICA CORP 'MTN' FRN	銀行	3.864%	2024/7/23	アメリカ	0.9%
ANHEUSER-BUSCH COS LLC / ANHEUSER-BUSCH INBEV WORLDWIDE INC	消費財	4.900%	2046/2/1	アメリカ	0.9%

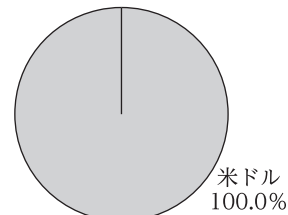
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの（監査済みおよび同時点の関連データを含む）を使用しています。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

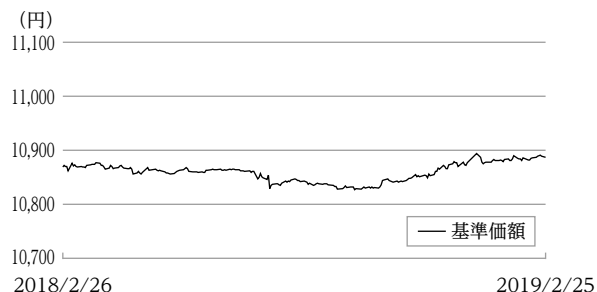
(注3) 資産別配分において先物の保有や未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）>

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(2018年2月27日～2019年2月25日)

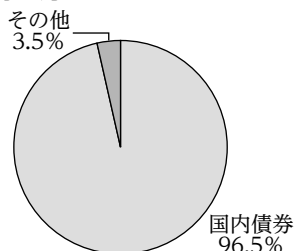
項目	金額	比率
(a) 信託報酬	23円	0.215%
（投信会社）	(15)	(0.140)
（販売会社）	(2)	(0.022)
（受託会社）	(6)	(0.054)
(b) その他費用	1	0.014
（監査費用）	(1)	(0.014)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	24	0.229

組入上位10銘柄（組入銘柄数：19銘柄）

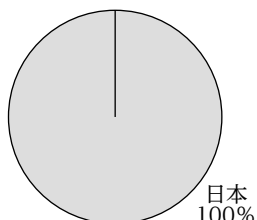
(2019年2月25日現在)

銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
第87回利付国債（20年）	国債	2.2%	2026/3/20	日本	8.9%
第91回利付国債（20年）	国債	2.3%	2026/9/20	日本	8.2%
第63回利付国債（20年）	国債	1.8%	2023/6/20	日本	7.5%
第48回利付国債（20年）	国債	2.5%	2020/12/21	日本	7.3%
第351回利付国債（10年）	国債	0.1%	2028/6/20	日本	7.0%
第311回利付国債（10年）	国債	0.8%	2020/9/20	日本	7.0%
第67回利付国債（20年）	国債	1.9%	2024/3/20	日本	6.9%
第80回利付国債（20年）	国債	2.1%	2025/6/20	日本	6.0%
第53回利付国債（20年）	国債	2.1%	2021/12/20	日本	5.9%
第47回利付国債（20年）	国債	2.2%	2020/9/21	日本	5.7%

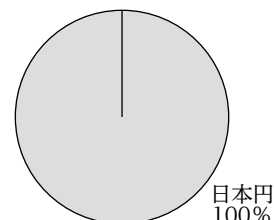
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細の項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。